



平成27年3月1日発行

ヒルズ通信

第46号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼



二〇一五年も明け、あつという間に2月も終わりにになりました。昨年は大雪で山梨県中大変でしたが、今年は幸いにも雪の方はそれほどでもなく、ようやく春の足音も聞こえてきました。

この時期はインフルエンザや風邪、ノロウイルス等が流行する季節でもあります、例年施設全体で行っている恒例行事の「節分」も今年は各フロア毎に行うことになりました。

フロア毎の開催で、一丁目では鬼の準備が出来ていませんでしたが、入居者様には豆まきの雰囲気は楽しんでもらえたかと思えます。

「節分&セレクトメニュー」

一丁目



又、二月は「セレクトメニュー」として、入居者様は地域交流スペースでもお寿司を召し上がりました。皆様いつも以上のペースで非常に喜んで召し上がっていらっしゃいました。

施設の中の生活では、なかなか季節の変化を感じ取りにくいものですが、少しでも入居者様に日々の生活を楽しく頂ける様、職員一同アイディアを絞っていききたいと思います。(四十物 大)

一丁目

「節分」



新しい年を迎えて「あつ」という間に早くも桃の節句の季節になりました。地域交流スペースにはお雛様が飾られています。春の花の開花だよりも耳にするよりな季節になりました。

二丁目の入居者様は風邪を引かれた方も何名かいらっしゃいました。大事になりましたが、今後は皆様お変わりなく過ごされています。二月には「節



分」の豆まきを行いました。入居者様は頭巾を被って福の神になり、赤鬼目掛け「鬼は外・福は内」と大きな声を出して豆まきをしていらっしゃいました。鬼を退治した後は皆様で節分の豆を美味しくいただきました。

皆様には福がやってくるという嬉しいですね。

三月には「夜喫茶」があります。各フロアの入居者様は自由参加で「お酒？」を飲みながらカラオケをしたり、他の入居者様とお喋りをしたりと、楽しく一夜を過ごす会です。

回を増す度に参加される入居者様が増えており、とても好評な催し物になっていきます。

今回の「夜喫茶」は二丁目が担当となっており、内容を職員一同で考えながら、その日を職員も楽しみにしております。

これから二丁目職員一同で入居者様一人一人に合った介護をし、入居者様に病気やケガの無い様に、全力でサポートしていききたいと思います。(大村 公江)

